

各部の清掃方法

次のような異常が発生した場合には、以下の手順に従って清掃を行なってください。

異常動作		清掃箇所
1	記録紙が正常に送られない	➡ 記録紙フィードローラ
2	縦方向のスジが発生する	➡ サーマルヘッド
3	プリント画像に縦方向のスジが発生する	➡ ブラテンガラス
4	原稿が正常に送られない	➡ 原稿フィードローラ

⚠ 注意

- 清掃する場合は必ず、電源プラグを抜いて行なってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤やクリーナーは、絶対に使用しないでください。
- サーマルヘッドには、無水エタノール以外は絶対に使用しないでください。
- 記録紙フィードローラは、プリント画像に影響しますので、傷を付けないように注意してください。
- スキャナーカバーの開閉角度は、約 60 度までです。それ以上は、無理に開けないように注意してください。

プリンター部

プリンターカバーを開けて、以下の清掃を行います。

⚠ 注意

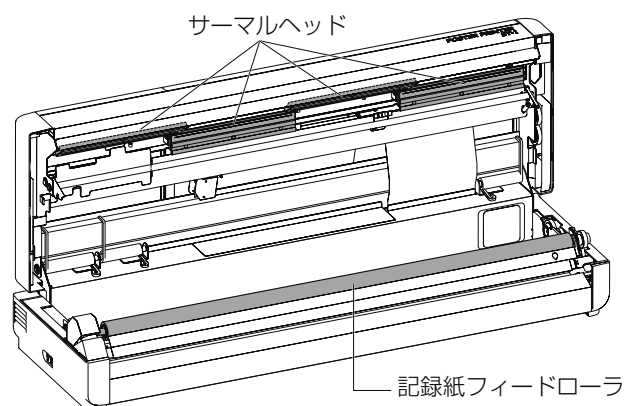
- プリンター部の清掃時には必ず電源を切ってください。
- プリンターカバーを開けて、機器内部にアクセスする際は、カバーの金具に注意してください。手を挟み、けがの原因になることがあります。

記録紙フィードローラ

やわらかい布に微量の無水エタノールを含ませて汚れを落とします。

⚠ 注意

記録紙フィードローラに傷を付けないようにご注意ください。



■ サーマルヘッド

サーマルヘッドが冷えてから（電源 OFF 後、2 分以上経過してから）、発熱部をやわらかい布に微量の無水エタノール（薬局で購入できます）を付けて拭いてください。

（発熱部には直接指で触らないでください）

サーマルヘッドは消耗部品です。サーマルヘッドの異物による破損、摩耗を防ぐためにも、定期的なサーマルヘッドの清掃をお勧めします。また、長期間機械を使用しない場合は、記録紙を取り除いて専用シートに包んで保管してください。

⚠ 注意

サーマルヘッドは熱くなっていることがあります。ヘッドクリーニングは、必ず電源を切って、ヘッドが冷えてから実施してください。熱によりやけどの原因になることがあります。

■ スキャナー部

スキャナーカバーの手前側を持ち上げて、以下の清掃を行います。

■ プラテンガラス

やわらかい布で乾拭きします。汚れが落ちない場合は、やわらかい布に微量の無水エタノールを付けて拭いてください。

■ 原稿フィードローラ

やわらかい布に微量の無水エタノールを付けて拭いてください。

